

## 「みがき合い、支え合い、心豊かでたくましく生きる生徒」

### <10月の振り返り>

#### 【「実践・改善」の見える化】…教師・生徒の変容（成長）の可視化！

10月は、9月の振り返りを基に「授業ルール」を可視化し、「学び合える関係づくり」を意識し、授業改善に取り組んできた。また、生徒指導でも積極的な生徒指導に力点を置き、自己決定や自己有用感、共感的な人間関係づくりを意識し、下級生への活動の移行をスムーズに行なうことができた。

#### (1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）

○明確な学習課題の設定，学習形態の工夫，振り返りの確保

・原則として「？」で課題を設定し，問題解決を図る授業づくりとしては，教科や単元によっては取り組みにくいものもあるが，1学期より意識はされてきている。

・対話型の授業が意識され，グループやペアでの活動を入れる授業形態が多くなった。

#### (2) 心の教育（道徳，いじめ，生命，思いやり）

○「いじめ」対策のひとつに授業改善を位置付けているが，1学期の追跡調査から3カ月以上の間，いじめを認知されるものが出てきていない。

○教育相談や進路面接等が計画的に実施されたので，目標を持って生活する生徒が確実に増えた。

#### (3) 安全安心（健康・体力向上，メンタル，防災，食育）

○校内適応教室を効果的にスタートすることができた。特に長欠保護者会を通して保護者同士のネットワークが作れたことが大きい。今後は長欠進路保護者会等を開催し，定期的に保護者会を維持していきたい。

#### (4) 生徒主体（行事，生徒会，部活）

○2年生が中心となり良い雰囲気，生徒会活動や部活動の後期がスタートした。生徒指導方針を定め，主体的な活動がさらに充実するようにしていきたい。

○東葛駅伝や県駅伝の優勝，各部の新人大会の結果が相乗効果をもたらし，積極的に活動しようという雰囲気は高く評価したい。課題は組織的な部活動支援と冬季トレーニングとのタイアップである。

#### (5) 三大伝統（挨拶，歌声，清掃）

○「明るく元気な挨拶」→校内での挨拶は明らかに改善されている。廊下での挨拶，授業や部活動，清掃活動等での挨拶，意識して取り組む教職員や生徒が多くなっている。継続させたい。

○「美しく響く歌声」→市内音楽会や合唱コンクールを意識して，計画的に取り組み，素晴らしい成果を残すことができた。特に市内音楽発表会では，他校をリードする演奏であった。

○「心を磨く清掃」→後期の新しい組織作りに伴い，新たな気持ちで取り組んでいる生徒が増えているのは評価できる。ボランティア清掃も行われているので，焦点を当てて広げていきたい。

#### 「研究と課題」のために

#### (1) 「自ら、共に学ぶ生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びの実践を通して～

○校内研を通して，全職員で研修できたことが大きい。授業課題を共有し，今後につなげていくことができそうである。

○「みがき合い、支え合う…」という学校教育目標が各教科の授業で具現化されるようにマネジメントしたい。

#### (2) 課題

○「わかる・できる授業」→生徒指導の機能を生かした授業づくりが意識されるようにしたい。

○「インクルーシブ教育」→UDの視点に立った授業づくりや授業ルールの可視化は今後も継続したい。

○「考え議論する道徳」→まずは時間確保！次年度に向けた取り組みが必要となる。

#### 「連携推進」のために

(1) 小中連携→「小中一貫」に向けたグランドデザインの検討に入っている。教務主任レベルから少しずつ広げていきたい。

(2) 中高連携→我孫子東高校の校内研究への参加や3年生の進学指導との連携を深めたい。